【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年10月2日(2024.10.2)

【国際公開番号】WO2023/145567
【出願番号】特願2023-517267(P2023-517267)
【国際特許分類】
C09J 7/38(2018.01)
C09J133/06(2006.01)
C09J 11/08(2006.01)
C09J175/04(2006.01)
【FI】
C09J 7/38
C09J133/06
C09J 11/08
C09J175/04

【手続補正書】
【提出日】令和5年3月15日(2023.3.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
粘着剤層を有する粘着テープであって、
前記粘着剤層は、（メタ）アクリル酸アルキルエステルに由来する構成単位と、末端に重合性不飽和二重結合を有するオレフィン重合体に由来する構成単位とを有するアクリル共重合体を含有し、
前記粘着剤層は、テトラヒドロフランに温度２５℃で２４時間浸漬したときの膨潤比が４０以上、５００以下である
ことを特徴とする粘着テープ。
【請求項２】
前記粘着剤層は、ゲル分率が２０重量％以上、６５重量％以下である、請求項１記載の粘着テープ。
【請求項３】
前記アクリル共重合体は、極性基含有モノマーに由来する構成単位を含有する、請求項１又は２記載の粘着テープ。
【請求項４】
前記極性基含有モノマーは、水酸基含有モノマーを含有する、請求項３記載の粘着テープ。
【請求項５】
前記アクリル共重合体は、前記水酸基含有モノマーに由来する構成単位の含有量が０．０１重量％以上、２重量％以下である、請求項４記載の粘着テープ。
【請求項６】
前記粘着剤層は、架橋剤を含有する、請求項１又は２記載の粘着テープ。
【請求項７】
前記架橋剤は、イソシアネート系架橋剤である、請求項６記載の粘着テープ。
【請求項８】

前記アクリル共重合体は、重量平均分子量（Ｍｗ）が５０万以上、１５０万以下である、請求項１又は２記載の粘着テープ。
【請求項９】
前記（メタ）アクリル酸アルキルエステルはブチルアクレートである、請求項１又は２記載の粘着テープ。
【請求項１０】
前記末端に重合性不飽和二重結合を有するオレフィン重合体に由来する構成単位の含有量が５重量％以上３０重量％以下である、請求項１又は２記載の粘着テープ。
【請求項１１】
粘着剤層を有する粘着テープであって、
前記粘着剤層は、ブチルアクリレートに由来する構成単位と、末端に重合性不飽和二重結合を有するオレフィン重合体に由来する構成単位とを有するアクリル共重合体を含有し、
前記粘着剤層は、イソシアネート系架橋剤を含有する
ことを特徴とする粘着テープ。
【請求項１２】
前記粘着剤層は、粘着付与樹脂を含有する、請求項１、２又は１１記載の粘着テープ。
【請求項１３】
前記粘着付与樹脂は、水酸基価が１５ｍｇＫＯＨ／ｇ以上である高水酸基価粘着付与樹脂を含有する、請求項１２記載の粘着テープ。
【請求項１４】
前記水酸基価が１５ｍｇＫＯＨ／ｇ以上である高水酸基価粘着付与樹脂の含有量が、前記アクリル共重合体１００重量部に対して２０重量部以上、４０重量部以下である、請求項１３記載の粘着テープ。
【請求項１５】
前記粘着付与樹脂は、更に、水酸基価が１５ｍｇＫＯＨ／ｇ未満である低水酸基価粘着付与樹脂を含有する、請求項１２記載の粘着テープ。
【請求項１６】
前記水酸基価が１５ｍｇＫＯＨ／ｇ未満である低水酸基価粘着付与樹脂の含有量が、前記アクリル共重合体１００重量部に対して１０重量部以上、６０重量部以下である、請求項１５記載の粘着テープ。